

**ゆうゆうハーモニカクラブ
鶴田幼稚園でコンサート**

12月15日、鶴田幼稚園で、ゆうゆうハーモニカクラブによるクリスマスコンサートが行われました。

ゆうゆうハーモニカクラブは、町内の高齢者25人で構成しています。最年長者は迫田澄さん(85歳)。月2回、ひまわり館で練習に励んでいます。

幼稚園へ出向いてのコンサートは今回初めて。夕焼小焼やジングルベル、大きな古時計などハーモニカを使って演奏しました。なじみの曲に、園児たちは歌を歌うなどコンサートを楽しみました。



ハーモニカで演奏をする
ゆうゆうハーモニカクラブ

お茶を寄贈する上村会長



**さつま町茶生産協会婦人部
町社福祉協議会へお茶を贈呈**

12月15日、さつま町茶生産協会婦人部(上村桂子会長 他21人)の役員3人がさつま町社福祉協議会を訪れ、平成18年産茶を贈呈されました。

これは、さつま町茶生産協会会員から新茶を提供してもらいブレンドした特製茶で、町内の高齢者福祉施設などの入所者に、奥さつま特有の霧のなかで育ったお茶「みやかおり」を飲んでもらおうと企画したものです。

**さつま町子ども会大会
く親(て)と子(て)をつないでく**

12月16日、さつま町子ども会大会が鶴田中央公民館で開催され、各地区子ども会育成会の活動発表や創作活動体験、福岡県高取保育園の「西 福江」園長の講演が行われました。

「食は生きる力につながる 生きる力を子どもたちに」という演題で行われた西園長の講演に、育成者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

午後からは、創作活動もあり、子ども達は試行錯誤しながら、クリスマスリースなどの作品づくりを楽しみました。

大会は、平成18年度結成された、ジュニアリーダークラブ「ほたる」のメンバーもボランティアとして参加し、受付や進行に従事するなど大会を盛り上げました。



創作活動でクリスマスリースを作る子ども達

役場本庁東別館前で行われた銘板の除幕式



さつま土地改良区設立記念式典

12月20日、さつま土地改良区設立記念式典が宮之城屋地のひかり別館で開催されました。

水流克男理事長ら関係者30人余りが出席し、井上町長は「環境保全など多面的な役割を期待している」とあいさつしました。

式典に先立ち、事務所となる役場本庁東別館前で銘板の除幕式も行われました。

同土地改良区は、市町村合併に伴い、旧宮之城、鶴田、薩摩の3土地改良区が合併し発足しました。組合員約4,300人、対象面積1,800haとなりました。